

■ はじめに

委員長 津川 文江

皆さん お元気ですか？
女性委員長を務めて二年が あ！！ という間に過ぎてしまいました。
今思うと、スケジュールを何とかこなしていく事が、精一杯という感じでした。
とても反省致しております。皆様に対しても、申し訳なく思っております。
今回、諸事情により、後、一年 委員長を務めることとなりました。
今年こそはと意気込んでおりますが?? 何とか 次期の方に気持ちよくバトンタッチをしたいと思っております。どうぞ、ご協力 ご指導よろしくお願い申し上げます。
さて、今年、6月23日には、県民文化ホール未来会館におきまして、建築士会東海北陸ブロック大会女性建築士協議会(前期会議)が、開催されます。多くの建築士の方々が岐阜を訪れます。
この大会を成功させるには、皆様方のご協力なくては出来ません。
どうか ご参加 お手伝いの方よろしく願いいたします。
そして、女性委員会活動を通して、自己研鑽、情報交換等を行い、また、楽しみのある活動内容を充実させ楽しく活動をしていきたいと思っております。いろいろな情報をよろしくお願いいたします。

☆:☆*。*:°☆。*:°☆:☆*。*:°:☆*。*:°☆。*:

**■ 今回の記事**

- はじめに
- 今後の予定・お知らせ
- 東海北陸ブロック会女性建築士協議会 平成18年度定例会議(後期三重会議)報告
- 見学会報告
- 建物調査報告
- ほっと・コーヒーブレイク
- 編集後記

同封資料

- ◆平成19年度年間スケジュール

☆:☆*。*:°☆。*:°☆:☆*。*:°:☆*。*:°☆。*:

■ 今後の予定・お知らせ

◆見学会

日時:5月8日(火)
川島町 岐阜県 広域防災センター

◆(社)岐阜県建築士会総会

日時:5月18日(金)
会場:岐阜会館

◆東海北陸女性建築士連絡協議会

日時:6月24日(土)
場所:岐阜県 未来会館

◆全国女性建築士協議会

日時:7月13日(土)・14日(日)
場所:青森県青森市文化会館

◆全国大会

日時:9月8日(土)
場所:北海道 帯広市民文化センター・十勝プラザ

■ 東海北陸ブロック会女性建築士協議会 平成18年度定例会議(後期三重会議)報告

■ 建築士会東海北陸ブロック会女性建築士協議会報告 津川 文江

平成19年3月3日(土)～4日(日)にかけて三重県四日市、じばさん三重にて、東海北陸ブロック会女性建築士協議会が行われました。

会議の方は3月4日(日)9:30～11:30 じばさん三重にて、行われ18年度の各県女性委員会(部会)の活動報告をしました。

活動内容として、パワーポイント講習会や手描パース講習会、減災に関する勉強会 照明講習会、バリアフリーに関する講習会などがあり、私達の委員会も、もう一度講習会の内容を検討してみようと思いました。

報告事項として 全国女性建築士協議会は7月13日(金)～7月14日(土)開催場所は、青森県青森市文化会館で、基調講演は、工藤光治氏です。

全国大会は9月8日(土)北海道大会で 開催場所は帯広市民文化センターと十勝プラザで行われます。

協議事項として、定例会議の運営で 以前、前期ブロック会議はメール交換のみで会議は必要ないとの意見もありましたが 今回は、交流をもっと深めた方がよいということで前期・後期と2回は必要との事でした。

■ 建築士会東海北陸ブロック会三重大会に参加して 下川 滝美

「コミュニティと環境を配慮した外部空間づくり」

今年度は愛知県が発表県で、今までのブロック会議のような発表形式ではなくて、ワークショップ形式の事業発表となりました。

4つのグループに別れて昭和40年代に建てられた団地をコミュニティと環境を配慮した外部空間にワークショップを通じて作り上げようというものでした。

各県からの参加でワークショップを通じて楽しく意見交換ができました建築に関する考えなどもお互いに高めあえたような気がします。

発表は各グループがコンセプトに基づき図面に手を加えプレゼンをしました。

どのグループのどんなところが良いか人気投票をしました。その後植木屋である糟屋氏の講評を終えて愛知が最近の動向をパワーポイントでまとめ終了となりました。

新しい試みの発表で一方方向の発表でなく双方方向の発表となりよかったということで参加者にはとても好評な事業発表でした。



ワークショップの様子



■ 建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士協議会 平成18年度後期三重会議に参加して

長瀬 八州余

平成19年3月3日(土)4日(日)の両日 建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士協議会 平成18年度後期三重会議が「じばさん三重」で行われ、岐阜県からは3名の女性委員参加しました。

会議会場や宿泊ホテル・懇親会場も近鉄四日市駅から近く移動が楽でした。

開会式は青年委員会と合同で行われ、その後女性委員はブロック事業発表の会場へ移動しました。

13:35～17:10まで愛知県の行うワークショップ「コミュニティと環境を配慮した外部空間づくり」に参加しました。

4時間近い時間でしたが、本当にあっという間に終了しました。同じテーブルになった皆さんといろいろな意見を出し合い楽しい時間でした。

懇親会は青年委員と合同で、立食ではなく、椅子席でした。

各県持ち寄りの日本酒の利き酒大会は例年だと青年が行うのですが、今回は女性委員が行うことになり、見事岐阜県が優勝しました。

懇親会后ホテルにもどり、ホテルのロビーで私たち3人が話していると、運営委員長の脇本さんと一緒になり、いろいろなお話ができました。

平成22年度は岐阜県がブロック会議後期の開催県でブロック事業の発表県でもあると共に、このままいくと、運営委員長が岐阜県に回ってくるということがわかりました。

翌日の4日はブロック事業委員会と会議がおこなわれ、11時半より青年委員と合同の閉会式で全ての行事が無事に終わりました。

今まではただなんとなくの参加でしたが、次回、平成19年度前期は岐阜県が開催県ですので自分たちが運営をしてい

かなくはなりません。三重県の皆さんのお話を聞いて、参考にしていききたいと思います。

二日間、今後の活動にとって有意義な時間を過ごすことができました。

■ 平成 18 年度後期三重会議ブロック事業委員会報告

長瀬 八州余

平成 18 年度のブロック事業発表の会場は三重県で、発表は愛知県でした。テーマは「コミュニティと環境を考慮した外部空間づくり」でワークショップ形式でおこなわれました。

愛知県の担当の方に今回のブロック事業の進め方、苦労したところなどを聞きました。

まず、愛知県では 2003 年頃から女性委員会では「住まいづくりと自然の恵み」ということで勉強会を進めてきました。そして 2005 年愛知県での全国大会で、女性委員会としてワークショップ形式で発表をおこないました。平成 19 年 3 月のブロック事業の発表をおこなうにあたり、今までの事をもとにしてブロック事業特別委員会を立ち上げ 1 年ぐらい前からどうするかを検討してきました。

部会としては 2～3 回の会合を持ちましたが、中心となる人たちは数多く会合を持ち検討を重ねました。

事業発表を行うに当たりコンセプトをどのように設定するかなど決めることが大変で、シュミレーションを 2 回ほどおこない、今回のような設定にたどり着きました。

ワークショップ形式で行うと結論を求めなくても良い反面、手法をどのようにするかが大事になってくるとのことでした。事業発表後のアンケートでは「楽しかった」という意見が多く、楽しんでいただけたのではないかと考えています。

事業の発表だけでは、一方通行ですが、ワークショップ形式だと双方向的なものになるので意見の交換ができやすかったのが良かったというような事を話していただきました。

今回の事業発表では、このようにワークショップ形式もひとつの方法であることが分かり、他県の委員さんも参考になったとのことでした。

平成 19 年度後期は富山県会議で発表県は福井県です。発表内容についての説明がありました。

福井県では、女性委員会の会員が少なく、負担の掛かる人は特定の人になってしまいやすいことなどもあり、青年委員会のかも借りて行おうと考えています。

第 1 案は、皆が参加しやすい企画ということで、食べることだと参加しやすく関心も高いのではないかと、県下の建物で、建築士が見た食事のできる建物マップみたいなものにしてはどうかという意見が出ました。

第 2 案は、長期活動だと大変なので、個人的に関わってきた学校関連の事業があったので、県下の新しくできた小学校を 4 校ほどリストアップして、旧校舎と比べてどんな違いがあり、変化があったのかを調査するという案が出ました。

この 2 つの案でどうするかを青年委員会との関わり方も考慮し進めていく予定だという、福井県からの現状報告でした。

■ 岐阜シティー・タワー43の見学会

河内 美代子

暖かい日が続いていたのに、この日は生憎の寒い雨の見学会となった。柳瀬再開発組合の方々も一緒の見学会で、女性委員会からは 6 名参加した。

初めに再開発組合の事務所で、説明とビデオで予備知識を仕入れてから現場へ移動した。非常用のエレベーターが工事中の移動手段として使われており、作業の方々に迷惑をかけながらの見学会となり恐縮であった。最上階の 43 階からは名古屋のツインタワーが雨のため、かすんでいたものの確認できた。住宅供給公社が運営する高齢者向け有料賃貸住宅ではモデルルームが作られていたため、ここでの生活を大体イメージできた。駅前に住まいや商業施設、医療福祉施設を併せ持った建物ができることは、岐阜県では初の街中居住の試みであり、今後、街の再生につながっていくのかどうか注目されるプロジェクトである。また、住居を伴う複合タワーとしては中部圏 No.1 の高さ (160m.) だそうで、超大型多段マスタンパーによる最新の制震システムが採用されるなど、様々な取組みもなされている。

最上階の展望部分は、岐阜市が運営し、オープン後も多分無料で入ることが出来る施設となるだろうから、また、上って岐阜の市街地やグレーター名古屋の圏域をしっかり見てみたいと思った。



流し台の足元は可動式で車椅子対応(標準設備)

■ 建物調査報告

女性委員会では平成20年後期の東海北陸ブロック会議の発表に向けて、建物の調査を行います。県内の公共建築物を中心に商業施設も含めて、調査箇所を便所などの水周り、授乳室などを重点的に、人に優しい設計や配慮されている点を各委員が積極的に調査をします。良い悪いを指摘するのではなく、気になる箇所は改良の提案を、また、優れているところは皆さんに広くお知らせできるように心がけて調査をしていきたいと思っています。

早速、下川さんが障害者の方達のためのマップ「あいマップ」の作成のための調査を「モレラ岐阜」でされ、その報告をメールリストで流してくださいましたので一部を紹介いたします。

建物調査

記録者 下川滝美

調査施設	モレラ岐阜 本巣市	
日時	平成18年7月8日 午前10時～午後2時	
参加者 10名 小中(2)	建築士	3名
	ボランティア	5名
	小中学生	2名
内容	午前10時	福祉センター集合
	午前10時15分 ～11時20分	モレラ岐阜担当者施設の 説明
	午前11時20分 ～12時15分	施設内調査見学 トイレとEVを中心に調 査見学
	午前12時15分 ～12時45分	見学後の質問と要望
	午後13時 ～14時	食事(反省会)

■モレラ岐阜施設担当による説明と質問の回答

- 4月29日グランドオープン以来240万人の利用がある。
平日3万人 休日約6万人
平日の利用は県内の方が多いが休日は名古屋・尾張小牧・滋賀・浜松からの利用もある。
- ハンディキャップをもった方でも買い物を楽しんでいただける施設になりたいと思っている。
- ハンディキャップをもった方でも買い物を楽しんでいただける施設になりたいと思っている。

- ・すべての出入口に段差をつけない。(店舗・トイレ・ホールなども)
- ・各トイレには身障者用も設備した。1階8箇所 2階7+1箇所
- ・扉はすべて引き戸又は自動ドアとした。
基準では800の開口で良いところを890の開口を確保した。
- ・インターホンの呼び出し 東3箇所 西1か所
インフォメーションにつながるようになっている。
- ・身障者用の駐車場は1階に52台分 屋上各EV入り口に2箇所有り
雨の日はフードコート下の駐車場を利用すると良い。
屋上にも屋根付きを要望
- ・手すり設置。吹き抜け部分などは手すりというよりは落下防止として設置
- ・出入口のサッシに子どもが手をはさむ事故があったため注意を呼びかける表示を掲示
- ・通路の床材 滑りにくい塗装のため雨に濡れても滑りにくい。
車椅子では多少重く感じる。
フードコート飲食店街の床材の目地で車椅子では動き難いところもある。
- ・電動カートによる利用も可能
- ・盲導犬での利用を現在は飲食店の衛生的配慮からお断りしている。
要望:盲導犬のかわりに店内の案内をしていただけるサービスがあると嬉しい
- ・駐車場の緑のラインは歩行者用の案内だがモレラ岐阜駅からのアプローチがわかりにくい。
次回の調査で確認したい。
- ・車椅子を各出入口に配置するようにして誰もが利用しやすくしている。
- ・子連れが多くベビーカー350台用意してあるがまだ足りないような状態。
- ・子育て支援のための授乳室がある。利用客も多い。
- ・南北の長さが約550mある。疲れた方用か休憩用の椅子も多い。よく利用されている。
- ・みんなのトイレは左・右からの使い勝手オストメイト設備の有無など各種の配慮がされている。オムツ用のダストボックスが多く設置されている。
案内表示の文字の大きさ・位置・高さにもう少し配慮していただくと一層見やすくなり利用しやすい物になると感じた。
- ・一般のトイレは男女とも手洗い器も子ども用があったり、おむつかえシート・ベビーキャッチャーがあったりと、とても利用しやすいと思われる。

トイレの出入り口或いはトイレブースの扉に便器の配置や手すりの有無などがわかる表示があると一層利用しやすいと感じた。

小さい子ども用の便器補助用具があると良いとおもったが衛生的に難しいことがわかった。

- ・トイレは店舗によってはオストメイトがお湯対応になっているところもあるので今後トイレマップを作りたいと思った。
- ・エレベーターはとても使いやすい表示で広く車椅子でも使いやすい。比較的数も多く利用しやすい位置にあると感じた。

一般のトイレ



みんなのトイレ

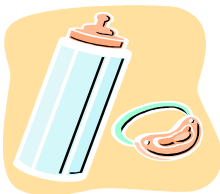


東宝シネマズのトイレ



他のトイレと比べて一番良く考えられている。

利用しやすい授乳室



広いエレベーター(写真は車椅子用)



利用層が小さな子ども連れということからの配慮も多く感じた。

利用しやすい施設だが案内表示の工夫でもっとわかりやすくなるのではないかと感じた。

施設の方が一緒に歩いていただいて前向きにお話を聞いていただけただけなのがとても嬉しく思いました。

■ ほっとコーヒーブレイク

◆ 建築士会東海北陸ブロック大会女性建築士協議会
(前期会議)のご案内

冒頭の委員長の挨拶にありました建築士会東海北陸ブロック大会女性建築士協議会(前期会議)の詳細を以下にご案内します。開催の運営の打合せは、これからの委員会で進めていきますが、委員の皆さんのご協力をお願いいたします。

開催日	平成19年6月23日(土)	
受付	(3階 ホワイエ)	12:30～13:00
ブロック事業委員会	(5階 ハイビジョン会議室)	12:30～13:00
開会式	(3階 ハイビジョンホール)	13:00～13:20
講演会	横山 正 氏	13:20～14:20
会議	5階 ハイビジョン会議室)	14:45～17:00
能登半島地震状況報告	(3階 ハイビジョンホール)	17:05～17:35
閉会式	(3階 ハイビジョンホール)	17:35～17:45
懇親会	(6階 レセプションホール)	18:00～20:00

■ 編集後記

気分も新たに平成19年度第1号をお届けします。今年度も早めのお届けをと心がけましたが、最初から怪しくなっていました。でも皆様からの投稿はいつもお待ちしております。特に「ほっと・コーヒーブレイク」のコーナーは、お役立ち情報、新築建物紹介をはじめ検証報告何でもOKです。

なお、編集参加問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員



開催場所 県民文化ホール 未来会館
岐阜市学園町3-42 TEL058-296-0888

(社)岐阜県建築士会

岐阜市司町1番地 岐阜総合庁舎3階

TEL 058-266-5786 FAX 058-266-6867

<http://homepage2.nifty.com/aba-gifu/>

Eメールアドレス kensi578@juno.ocn.ne.jp

※ 女性委員会担当まで宜しく願い致します